

塗装する前に…

【用意しておく便利な物】

1. 使用する塗料

作品の使用目的や、好みに合った塗料を選んでください。

2. 塗装用具

ニスハケやコテバケをお勧めします。ローラーは表面が荒れやすいので適しません。

3. 塗料に適したうすめ液

塗料容器に適したうすめ液が記載されています。塗装用具を洗うときにも使用します。

4. 研磨道具

240番のサンドペーパーが必要です。空研ぎサンドペーパーを推奨します。

5. ウェス

いらなくなった綿布で代用できます。タオル地は埃が出やすいので避けてください。

6. マスキングテープ

塗りたくない場所を保護するために使います。

7. 新聞紙やビニールシート

周辺の汚れ防止に使います。

8. ゴーグル、マスク、軍手やビニール手袋など

塗料の飛び散りによる汚れ防止に使います。

9. 汚れてもよい服装

衣類に塗料がつくと、きれいに落とせません。

【塗装を避けた方がいい環境】

1. 雨天や湿度の高い曇天、24時間以内に降雨が予想される場合

(塗料が乾きにくくなったり、表面が白く濁ることがあります)

2. 極端に気温が高い日 (塗料の乾きが早すぎるため、失敗しやすくなります)

3. 極端に気温が低い日 (塗料が乾きにくくなります)

4. 強風 (塗装面にゴミがつきやすくなります)

5. 塗装する木材が湿っている場合

(素材が乾いていないと、塗料が乾きにくくなります)

無塗装木部に木材保護塗料を塗る場合の塗装手順

1. 木地をよく研磨する

240番の空研ぎサンドペーパーを使って、木目に沿って研磨します。カンナをかけてある木材は表面がきれいに見えますが、塗料が染み込みにくい状態になっているので、しっかり研磨してください。研磨が終わったら、研磨カスをきれいに取り除きます。

2. 塗料をよく攪拌する

一部の成分が沈んでいるため、塗装前にしっかり混ぜておきます。

基本的に原液のまま塗装することをお勧めしますが、真夏など乾燥が早くて塗りにくい場合には、少量の水を加えて調整してください。

3. ハケで木目に沿って塗装する

一気に厚みをつけないように、薄い層を塗りつけるイメージで、均一な厚みになるように塗装します。厚みの差が色ムラとして現れるので注意が必要です。

一筆書きにする必要はなく、乾く前であれば一度塗ったところを再度塗り直しても問題ありません（乾きかけた場所を無理に直そうとするのは逆効果になります）。

4. 完全に乾かす

容器に記載されている乾燥時間は20℃の環境で乾かした場合の目安であり、塗りつけた量が多い場合や、湿度が高い場合などには表記以上に時間がかかることもあります。

※ガードラックアクアは、1回塗りで終了です。

5. ハケで木目に沿って塗装する（ガードラックラテックス2回目）

基本的な注意点は工程3と同じです。ほとんどの場合は木の吸い込みが止まっているため、1回目よりも少ない量で塗ることができます。

6. 完全に乾かしてから、仕上がりを確認する

乾燥に関する注意点は工程4と同じです。

※ガードラックアクア、ガードラックラテックス共につやのない仕上がりです。